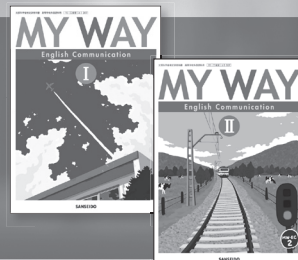


# 『MY WAY English Communication I・II』 の特長 — 題材・言語材料・言語活動・教科書構成 —



桜美林大学 森住 衛

## はじめに

新版『MY WAYシリーズ』の「コミュニケーション英語Ⅱ」（以下、『Ⅱ』）の見本本が完成しました。この『Ⅱ』は「コミュニケーション英語Ⅰ」（以下、『Ⅰ』）に続いての刊行となります。先生方には、『Ⅱ』の2014年度使用を検討していただきたいと思いますが、『Ⅰ』の2014年度使用の場合もありますので、ここでは『Ⅰ』と『Ⅱ』を合わせて紹介します。

さて、『MY WAY』は、ご支援いただいた前版の『EXCEED』を受け継いだものですが、編集の方針は「不易流行」です。つまり、時代を超える大本を残し、時代に合わせた改訂はおこなうというものです。以下に、この不易流行に関係させながら、題材・言語材料・言語活動・教科書構成の4点にわたって説明します。

## 題材 — 高いメッセージ性

小・中・高・大のどのような段階でも、教科書の核になるのは本文の題材内容です。この題材内容に高校生に訴えるメッセージ性がない教科書は、「魂」がないのも同然です。この「不易」のもとに、新生『MY WAY』では、本課本文の題材を全部新しい題材に一新しました。これが現代に合わせた進化、すなわち「流行」です。『EXCEED』で好評だった題材が多々ありましたが、身を切る思いで捨てました。教材を送る側が現在の新しい問題を模索しなければ高校生の心に届かないと考えたからです。以下が、新しく約300を越す題材の候補から、テーマの種類（言語・文化・科学・環境・サブカルチャーなど）や形式（評論・エッセイ・人物伝など）、国や地域などを考慮して精選した『Ⅰ』の本課10課分の題材です。

### 1. A Story about Names

名前をめぐる世界の状況

### 2. Shoes for a Dream

日本とケニヤを結ぶ高橋尚子さんの活動

### 3. Green Roofs

都市生活を快適にする緑の屋根

### 4. Pictures of Funny Moments

エリオット・アーウィットのユニークな写真

### 5. Letters in the World

世界のさまざまな文字

### 6. Great Abilities of Pigeons

ハトの驚くべき能力とは……

### 7. The Power of Words

人々の心を動かすことばの力

### 8. A Mysterious Object from the Past

古代ギリシャの船から見つかった謎の物体

### 9. Sesame Street

世界中の子どもたちに愛されるテレビ番組

### 10. A Lecture by Maskawa Toshihide

益川敏英博士の「のりしろ」人生

次は、この春に見本本として刊行した『Ⅱ』です。

### 1. Pictograms

すばやく情報を伝えるピクトグラム

### 2. New Year's Celebrations

アジアのさまざまなお正月

### 3. Eco-friendly Inventions

地球にやさしい発明品

### 4. Brazil — Far away or Close?

ブラジル — 遠くて近い国

### 5. Eye Contact

目で伝えるコミュニケーション

### 6. Space Elevator

エレベータで宇宙の旅へ

### 7. An Encouraging Song

歌がくれた勇気と希望

## 8. Language Contacts

文化の出会いとはことばの出会い

## 9. Charles Chaplin

喜劇王と言われたチャップリンの半生

## 10. The Five-story Pagoda of Horyuji

五重塔が倒れない理由

さらに、各課のあとには〈Optional Reading〉として、その課で取り上げた内容に係る題材を1ページ分(約150語)配置して、テーマの深化や拡大を図りました。これは現場の先生方の要望に合わせた「流行」ともいえます。これを加えますと、『I』『II』とも本課が各10課分、そして〈Optional Reading〉が10回で、計20の題材に接することになります。なおこの他に、以下の物語教材を『I』で1つ、『II』で2つ配置しています。

### I The Girl in the Bank

ある女性銀行員におこった出来事とは…

### II The Cat

ある日ネコが出会ったのは…

### A Letter to Italy

本当の運命の相手とは…

## 言語材料 — 文法と語彙の増強

『EXCEED』は、これまで語彙と文法を重視してきました。『MY WAY』もこの「不易」を踏襲しています。古今東西言われてきていますように、「語学はやはり語彙と文法」です。この2つがしっかりと身につけていけば、実践的コミュニケーションにも大学受験にも役立ちます。しばしば日本人は英語を話せないとか、最近では大学新入生のレベルが落ちたなどと言われていますが、原因はこの2つの貧困にあるのです。新版『MY WAY』はこの2つの説明や練習を以下のように質量ともに増やして強化しました。〈Starter〉の文法の説明や課と課の間の〈Vocabulary Building〉は新版の「流行」にあたります。次に、『I』の内容を紹介します。

### (1) 文法：基礎から発展までの多彩な扱い

・〈Starter〉(教科書冒頭)

本課に入る前に基本事項の確認、品詞の簡便な説明など、教科書では初めての試み

・〈Grammar〉(各セクション)

丁寧なワンポイントの説明

・〈Exercise〉(各課末)

その課に出ている文法の固め

・〈文法のまとめ〉(2課ごと)

2課分の主要な文法項目の復習

・〈基本項目一覧表〉(巻末付録)

〈文型・文法一覧表〉(巻末付録)

本教科書で扱った文法項目のまとめとわかりやすい解説

### (2) 語彙：語彙力増進のための工夫

・〈Words〉(各課末)

語彙を増やすためのクイズ/ゲーム形式の問題

・〈Vocabulary Building〉①-④(2課ごと)

品詞の区別、基本動詞の意味、接頭辞、接尾辞

・〈基本項目一覧表〉(巻末付録)

動詞の変化形など中学から高校までの語彙の

総合的把握

## 言語活動 — Reading & Thinkingの充実

言語活動は、「5技能(4技能+Thinking)」のことです。これは教科書編集に当てはめると、各課の前後にあるその課に関する練習問題や活動、あるいは課と課の間にあるSpeakingやWritingに関する活動になります。以下が、これらがどのように扱われているかの概観です。

### (1) Reading

各セクションの〈Q&A〉と〈Read Again〉、各課第1セクションの〈Reading Skill〉、課末の〈Comprehension〉

### (2) Speaking

各セクションの〈Try〉、課末の〈Self Expression〉、〈Let's Try〉の〈Key Expression〉と〈Interaction〉

### (3) Listening

課末の〈Comprehension〉、〈Let's Try〉の〈Starter〉と〈Dialog〉

### (4) Writing

課末の〈Self Expression〉、〈Let's Try〉の〈Interaction〉

### (5) Thinking

各課タイトルページの〈Before You Read〉、課末の〈考えてみよう〉、課末の〈Self Expression〉、〈Let's Try〉の〈Interaction〉

『MY WAY』はこの5技能の、教科書としてのバランスは当然とっていますが、とりわけThinkingとReadingには重点を置いています。Thinkingはあらゆる技能の中核です。Readingは4技能の根幹に位置し、Thinkingを促進させます。この2つは、日本のTEFLの環境(30~40名の学級規模の一斉授業)にも合致しています。新生『MY WAY』ではこのような「不易」を底流において、「流行」の対策としてReading Skillsの網羅化・体系化を図りました。たとえば、〈Reading Skill〉の最初の段階では、いわゆるSlower Learners用のReadingの活動の極めて基本的な知識や指導法も扱っています。『I』の第1課と第3課では、以下のような「スキル」を取り上げました。

### ・Reading Skill 1【動詞と名詞】

第2段落7行目を読みながら、動詞を□で囲み、名詞に下線をつけましょう。

例：Do you say your given name first?

### ・Reading Skill 3【主語と述部】

第2段落5行目を読みながら、各文の主語を□で囲み、(述語)動詞に下線をつけましょう。

例：Today the number of such buildings is increasing gradually.

Slower Learnersに対しては、最初はこの確認から始めなければいけないのです。どれが名詞か動詞かがわからないからです。これまでの教科書ではこの種の手当を行っていなかったのです。このように極めて基本的な活動を加える一方で、後半の課では、パラグラフ・リーディング、スキミング、スキミングなどのReading Skillsも取り入れています。さらに、各課末の活動の中に、深いThinkingを促すPISA型読解力を問うています。これは、母語の国語教育でも高度とされている活動です。この「超基礎」から「超発展」までのReading Skillsを教科書で取り上げているのは、新生『MY WAY』が本邦初ではないかと自負しています。これは『I』の例でしたが、『II』でも重要なスキルはスパイラルで再度取り上げながら、新しいスキル、たとえば、話題の提示、未知語の推測、ディスコースマーカーなどを取り上げています。この丁寧さも本邦初だと思います。

## 教科書構成 — 新しい工夫

教科書構成は、本文と練習問題の位置や提示順序に関わることです。ここでは「流行」です。つまり一見、『EXCEED』の改訂版とは思えないくらいに変えました。これまで『EXCEED』では本課本文をセクション1, 2, 3などと続けて提示し、その後でまとめて解説や練習問題を扱ってきました。新版『MY WAY』ではこの方式を改めて、各セクションは左側に本文、右側に活動や練習問題としました。現在の多様化した生徒の事情に合わせるためです。この形式自体は、他の教科書で既に提示されていますので、『MY WAY』の特許というわけではありません。あえて、新しい工夫と言いますと、右ページの文法の説明の内容です。シロクマやペンギンのキャラクターに吹き出して語らせている「一言説明」にご注目ください。平易な日本語で「簡にして要を得た」説明にしたつもりです。また、各課のセクション1に上述の〈Reading Skill〉を取り上げていること、それも、毎回、本課本文に絡めて取り上げていることが今回の『MY WAY』の「流行」です。考えてみますと、本課本文を関係させずにReading Skillsを説明するのは、生徒からすれば期待はずれ、教師からすれば的外れな感を禁じ得ません。

## おわりに

以上、新版『MY WAY English Communication I・II』の特長として、メッセージ性の高い題材、文法と語彙の増強、Reading & Thinkingの充実、教科書構成の工夫の4点について説明してきました。このうち最初の3点は、各学校の環境や状況に応じて差はありますが、学校教育における英語教育として「すべての」高校生に保証したいと考えています。なお、今回は紙幅の都合で取り上げなかったコラムや活動がいくつかあります。たとえば、2課ごとに配置した〈Let's Try〉の[Starter]で扱っているListening、[Dialog]の会話文の題材です。また、フォニックスや発音、かぶせ音素を取り上げた〈Sounds〉です。さらに、課末の〈Self Expression〉で取り上げているWritingやSpeakingの活動などです。これらについては省略しましたが、『I』の供給本および『II』の見本本で、上記の4点と合わせて、ご確認いただければと願っています。